

公共交通計画推進事業(地域公共交通再編支援業務)

「成田市における地域交通の課題解決に向けたモビリティ人材育成事業」

【事業の目的】

成田市が抱える交通課題を解決するために、行政・市民・交通事業者など、それぞれ立場の異なる多様な関係者が多角的な意見を出し合うことにより、相互理解を促し、持続可能な地域公共交通の構築に向けて必要となるコーディネートスキルの習得を図る。

【事業概要】

携帯電話の位置情報等から得られるビッグデータの分析により、市民の移動実態などを把握した上で、交通事業者や市民代表など立場の異なる幅広い関係者を一堂に集め、ワークショップ等を通じた地域公共交通に係る問題意識の共有と、課題解決に向けた検討を行う。

一連の検討を経て、コミュニティバスの再編やオンデマンド交通の見直しに向けた実施計画(ロードマップ)を作成し、次年度以降の実証運行を目指す。

【事業の流れ】

① 人流等データを基にした移動実態分析の実施(委託業者)

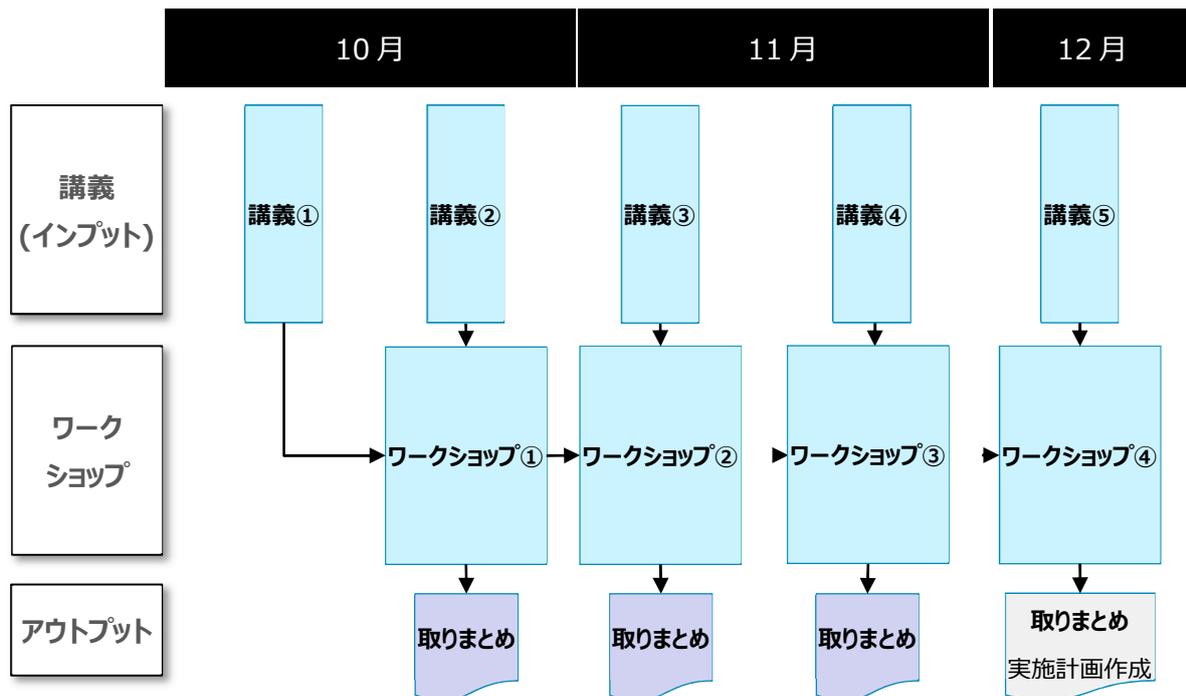
※GPS の位置情報などから個人を特定しない形で「どのような人が」「どのような目的で」「どのような時間帯に」移動しているかの実態を把握できるようなデータ分析

② 講義・ワークショップを3ヶ月で4回程度開催

(地域公共交通活性化協議会の構成員を基本とした40名程度でメンバーを固定し実施)

③ 改善案の実践(実証)に向けた実施計画(ロードマップ)の作成(市・委託業者)

【事業推進イメージ】



* 講義では、一般的な交通やビッグデータを基にした成田市の移動実態、ワークショップでは成田市のコミュニティバスやオンデマンド交通を題材とすることを想定

【スケジュール見込み】

令和6年6~8月	手続き
9月	委託事業者と契約
10月	事業開始、ビッグデータ取得・分析
10~12月	講義・ワークショップ実施
令和7年 1月	講義・ワークショップ実施後の取りまとめ、実施計画作成
2月	事業完了報告

協議会委員のみなさまへのお願い

モビリティ人材育成事業の育成対象者として、参加にご協力をお願いいたします。

※9月上旬を目途に、各所属団体宛てに参加協力依頼をさせていただく予定です。

Point

1. 本事業において開催するワークショップは、各参加者が一方的に要望する場ではなく、相互理解と協働の場となります。
ご自身(所属先)の立場で抱える課題や状況、意見を参加者同士で共有していただいた上で、一緒に対策を考えていただきます。
2. 本事業への参加を通じて、次期成田市地域公共交通計画策定に必要なスキルの習得を目指します。
3. 本事業によって得られるデータは、各企業・団体において潜在ニーズ、交通アクセス、交通量の把握、地域活動等にご活用いただくことが可能です。
例：路線バス・タクシーのニーズ把握、地域内で移動が多い場所でのイベント企画 など